



令和7年度2学期終業式

12月23日（火）に、2学期の終業式を迎えました。この学期には、研究発表会・体育大会・合唱コンクールと大きな行事が立て続けにあり、本気・全力で取り組む東中生の輝く姿を、たくさん見ることができました。

心底からの充実感や、膝から崩れ落ちそうになるほどの悔しい思い、友との絆を感じる中で、感情がゆらめくことが多くありました。そのゆらめきの中に、個々の生徒の成長があったと思います。また、「やりきった経験」により、各学年・各クラス・個人それぞれに大きな収穫があったと思います。

これから14日間の冬休みに入ります。休み中には年が改まり2026年を迎えます。東中の校訓『自修』のように、自ら整え、自ら学び、自ら正しくできる日々を送ることで、新年のスタートをうまく切ってくれたらと思います。保護者のみなさまには行事へのご協力やご声援をいただき、まことにありがとうございました。



学年代表生徒のことば より

僕が二学期に頑張ったことは、体育大会の応援リーダーです。はじめは、演舞の振りつけを覚えられるかななど、初めてのことばかりでとても不安でした。しかし、麗覇団の先輩方が優しく丁寧に教えてくれたおかげで、少しずつ自分の踊りに自信をもつことができました。

（中略）当日は、今までやってきたことをすべて出し切り、競技の部で準優勝することができました。悔しさももちろんあったけど、それより麗覇団で最高の演舞をつくり上げられたことや、学年を越えて団結できたことで、僕にとって最高の思い出になりました。

体育大会の経験を活かし、僕は後期室長にも立候補しました。先輩たちから教わったように、僕もクラスのみんなに思いを伝えながら行動し、学級目標である「FLOWER」を実現できるようにしたいです。一人一人が自分らしい花を咲かせられるクラスにできるよう、三学期も自分にできることを精一杯頑張っていきたいです。

（1年）

学年代表生徒のことば より

僕はこの2学期、はじめて経験をすることばかりでした。中でも一番の経験は、ソフトテニスの団体戦で県大会に出場したことです。



僕はテニス部の副部長であり、部長を支えたり、部活中にはみんなで声を出していて元気がない時には声出しを呼びかけたり、周囲を見て行動をするようにしました。(中略)みんなで話し合いをして決めた「西三大会で2勝する」という目標に向けて練習をしていくうちに雰囲気はよくなっていました。(中略)

西三大会に出場することができましたが、惜しくも目標の西三大会で2勝をすることができませんでした。ですが、1勝をしたことで、県大会に出場することができました。県大会は、強い相手チームばかりで2回戦目で負けてしまう悔しい結果でしたが、とてもよい経験ができました。

これからも僕たちは目標である西三大会2勝をするために、みんなできつい練習を乗り越えて、お互いに励ましあい、このままよい雰囲気で練習を続けていきたいです。

(2年)

学年代表生徒のことば より

(中略) 体育大会では、団長として団をまとめる立場を経験しました。(中略) リーダーの練習が始まってみると、後輩とすぐに打ち解けることができました。リーダーだけではなく、たくさんの後輩が、前から友達だったかのように話しかけてくれました。先生方からもたくさんのアドバイスをもらったり、小道具づくりを手伝ったりしてくれました。たくさんの協力が僕の力になりました。結果もそれに伴って演舞優勝となり、最高の思い出となりました。本当にみんなに感謝しています。(中略)

受験は親や友達、先生方の協力が必ず絡んできます。最近だと友達と難しい問題を解説したり、問題を出しあったりしています。親には塾の送迎などをしてもらっています。今は自分のことで頭がいっぱいになってしまいがちです。そういう時こそ、体育大会のときに感じた「たくさんの協力があってこそ」ということを改めて思い出し、感謝の気持ちを忘れないようにします。

そして、残り少ない受験までの日々を大切にし、たくさんの人の協力に結果で報えるように必死にがんばります。

(3年)

※学校からの各おたよりや、日々の生徒たちの活動や様子などを、「東中学校のホームページ(<https://swa.hekinan.ed.jp/swas/index.php?id=higashijh>)」にて公開しております。ご覧ください。